



① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ Ⅱ.品質	Ⅰ.工種 Ⅱ.現場 Ⅲ.準備 Ⅳ.工事	a	a'	b	b'	c	d
		<input type="checkbox"/> 評価対象項目の履行状況（評価値）と品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。 <b>【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】</b> ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 別紙-3の作成は別紙-5により行う。					<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超え不適合に該当する。
		<b>【評価対象項目】</b> [区画整理工事] (整地工) <input type="checkbox"/> 1. 地区内の地表水及び地下水を排除し良好な排水状態で施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 2. 表土扱いにあたり、雑物等が混入しないように実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 3. 濁り等の防止に十分留意して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 4. 畦畔は、適正な土質を使用して十分に締め固められている。 <input type="checkbox"/> 5. その他（理由： ） (道路工) <input type="checkbox"/> 6. 道路築立にあたっては、泥濘化を防止し、締固めを十分に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 7. 路床面が十分に不陸整正されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 8. 路面の中央部が高く、横断勾配を取って施工されている。 <input type="checkbox"/> 9. 敷砂利材料の敷均しは、碎石の粒度の分離が無く敷厚が均一に仕上がっている。 <input type="checkbox"/> 10. その他（理由： ） (用・排水路工) <input type="checkbox"/> 11. 施工基面は、土質が適正か確認が出来て、かつ、良好な排水状態で施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 12. 埋戻しは、雑物等が混入せず、良好な（過湿・過乾燥・凍土状態でない）状態で施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 13. 付帯構造物（合流工、落差工等）は、現場に合わせて適切に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 14. 水路の目地やマチ部の処理が適切に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 15. 二次製品の現場検収において、入出荷方法や製品状況をチェックしていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 16. クラックがない。 <input type="checkbox"/> 17. その他（理由： ） [暗渠排水・湧水処理工事] <input type="checkbox"/> 18. 表土と基盤土の混合を防止していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 19. 被覆材の厚さを写真、資料等で的確に確認できる。 <input type="checkbox"/> 20. 配管接合部において、確実に接合されていることが写真・資料等で的確に確認できる。 <input type="checkbox"/> 21. 施工後に大幅に沈下しない状態（高含水土や凍土混入等でない）で施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 22. 埋戻し後、田面の沈下やわだち、被覆材の散らばり等が少なくていねいに施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 23. 構造物（水閘部等）は、維持管理も容易になるよう考慮し適切に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 24. その他（理由： ）					①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率（％）計算の値で評価する。 ③評価値（％）＝該当項目数（ ） ／対象評価項目数（ ） ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。
		次ページに続く					

3.出来形及び出来ばえ  
II.品質

ほ場  
整工 備事

[客土及び耕土搬入工事]

- 25. 石礫等の雑物が混入されていないことが確認できる。
- 26. 田面は、良好な排水状態で施工していることが確認できる。
- 27. 客土運搬量を、出来形のほかにその他資料（土取場の測量、運搬車両台数等）で確認できる。・・・[採取土の場合]  
客土運搬量を、出来形のほかにその他資料（運搬車両台数等）で確認できる。・・・[購入土の場合]
- 28. 運搬道路の防塵や路面損傷防止等の対策をし、破損させた箇所は原形復旧している。
- 29. 公道運搬での交通安全対策や過積載についての自社の基準を設定・管理し、それを記録にとどめている
- 30. 気象条件に合わせて作業中止基準を自社で設定・管理し、それを記録にとどめている。
- 31. その他（理由： ）

[敷砂利工事] \*敷砂利工事のみ適用

- 1. 路床面が十分に不陸整正されていることが確認できる。
- 2. 路面の中央部が高く、横断勾配を取って施工されている。
- 3. 敷砂利材料の敷均しは、碎石の粒度の分離が無く敷厚が均一に仕上がっている。
- 4. 敷砂利材料は鉄線等有害な異物の混入が少なくなるよう努力して施工していることが確認できる。
- 5. 路肩等に路面排水対策が自社の工夫により施工されている。
- 6. その他（理由： ）

●判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで 判断不可能
		50%以下	80%以下	80%を超える	
評 価 値	90%以上	a	a'	b	a'
	75%以上 90%未満	a'	b	b'	b
	60%以上 75%未満	b	b'	c	b'
	60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

① 考査項目	② 工種	a	a'	b	b'	c	d																														
3.出来形及び出来ばえ II.品質	コンクリート二次製品水路工事	<input type="checkbox"/> 評価対象項目の履行状況（評価値）と品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。 <b>【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】</b> ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 別紙-3の作成は別紙-5により行う。					<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超え不適合に該当する。																														
		<b>【評価対象項目】</b> <input type="checkbox"/> 1. 施工基面は、土質が適正であるか確認が出来て、かつ、良好な排水状態で施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 2. 埋戻しは、雑物等が混入せず、良好な（過湿・過乾燥・凍土状態でない）状態で施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 3. 水路の目的（用・排水、道路用等）を考慮して、配置や構造物とのすり付けなどが適切に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 4. 水路の目地やマチ部は、水はねや水漏れが無いようにていねいに施工されている。 <input type="checkbox"/> 5. コンクリート構造物にきめ細やかな施工がうかがえる。 <input type="checkbox"/> 6. 二次製品の吊り込み、据付の際に常に十分な注意を払っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 7. 二次製品の現場検収において、入出荷方法や製品状況をチェックしていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 8. クラックがない。 <input type="checkbox"/> 9. その他（理由： _____）						①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率（％）計算の値で評価する。 ③評価値（％）＝該当項目数（　　）／対象評価項目数（　　） ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。																													
<p>●判断基準</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="4">評価値</th> <th>90%以上</th> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>a'</td> </tr> <tr> <th>75%以上 90%未満</th> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <th>60%以上 75%未満</th> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <th>60%未満</th> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>										ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	a'	75%以上 90%未満	a'	b	b'	b	60%以上 75%未満	b	b'	c	b'	60%未満	b'	c	c	c
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
		50%以下	80%以下	80%を超える																																	
評価値	90%以上	a	a'	b	a'																																
	75%以上 90%未満	a'	b	b'	b																																
	60%以上 75%未満	b	b'	c	b'																																
	60%未満	b'	c	c	c																																
※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。																																					



考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d																													
3.出来形及び出来ばえ  II.品質	水路補修工事	<input type="checkbox"/> 評価対象項目の履行状況（評価値）と品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。  <b>【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】</b> ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 別紙-3の作成は別紙-5により行う。					<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超え不適合に該当する。																													
		<p><b>【評価対象項目】</b> [共通]</p> <input type="checkbox"/> 1. 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ、現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 2. 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 3. 気象条件に応じた施工方法で施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 4. 部材の洗浄・下地処理が適切に行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 5. 養生の期間・現場条件が適切になされていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 6. その他（理由： ） <p>[開水路補修工]</p> <input type="checkbox"/> 7. 補修材が当該既設構造物へしっかり密着（規程の付着強度等をクリアされている）されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 8. 目地の対策が適切に施工されていることが確認できる。 <p>[管更正工]</p> <input type="checkbox"/> 9. 規定の厚さで施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 10. 施工後の規定断面が確保されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 11. 管更正材が当該既設構造物へしっかり密着（規定の付着強度等をクリアされている）されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 12. 各種耐用試験結果（曲げ強度試験他）にクリアしていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 13. 曲線部の施工では弛みが無いことが確認できる。また、施工上、やむを得ない出来た弛みも適切な方法により対処したことが確認できる。 <p>●判断基準</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>a'</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-top: 10px;">注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。                  ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率（%）計算の値で評価する。                  ③評価値（%）= 該当項目数（ ） / 対象評価項目数（ ）                  ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p> </div>									ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	a'	75%以上90%未満	a'	b	b'	b	60%以上75%未満	b	b'	c	b'	60%未満	b'	c
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																															
		50%以下	80%以下	80%を超える																																
評価値	90%以上	a	a'	b	a'																															
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b																															
	60%以上75%未満	b	b'	c	b'																															
	60%未満	b'	c	c	c																															

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d																													
3.出来形及び出来ばえ  II.品質	上記以外の工事	<input type="checkbox"/> 評価対象項目の履行状況（評価値）と品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。 <b>【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】</b> ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 別紙-3の作成は別紙-5により行う。					<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超え不適合に該当する。																													
		<p><b>【評価対象項目】</b></p> <p><input type="checkbox"/> 理由：_____</p> <p><input type="checkbox"/> 理由：_____</p> <p><input type="checkbox"/> 理由：_____</p> <p><input type="checkbox"/> 理由：_____</p> <p><input type="checkbox"/> 理由：_____</p> <p><input type="checkbox"/> 理由：_____</p> <p><input type="checkbox"/> 理由：_____</p> <p><input type="checkbox"/> 理由：_____</p> <p>※既様式では評価しがたい場合に適宜評価項目を設定する。</p> <p>●判断基準</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>a'</td> </tr> <tr> <td>75%以上 90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>60%以上 75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。</p>									ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	a'	75%以上 90%未満	a'	b	b'	b	60%以上 75%未満	b	b'	c	b'	60%未満	b'	c
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																															
		50%以下	80%以下	80%を超える																																
評価値	90%以上	a	a'	b	a'																															
	75%以上 90%未満	a'	b	b'	b																															
	60%以上 75%未満	b	b'	c	b'																															
	60%未満	b'	c	c	c																															

①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。  
 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率（%）計算の値で評価する。  
 ③評価値（ % ）= 該当項目数（ ） / 対象評価項目数（ ）  
 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d																														
3.出来形及び出来ばえ  II.品質	多工種複合工事	<input type="checkbox"/> 評価対象項目の履行状況（評価値）と品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。  <b>【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】</b> ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 別紙-3の作成は別紙-5により行う。					<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超え不適合に該当する。																														
		<b>【評価対象項目】</b>						①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率（%）計算の値で評価する。 ③評価値（%）＝ $\frac{\text{合計該当項目数}}{\text{合計対象評価項目数}}$ （%） ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。																													
		主たる工種	該当項目数	対象評価項目数																																	
		i) 別紙-3 ( )	( )	( )																																	
		ii) 別紙-3 ( )	( )	( )																																	
		iii) 別紙-3 ( )	( )	( )																																	
		合 計	( )	( )																																	
<p>※本様式は、多工種で評定対象が重要な場合に、それぞれに該当する様式を複数選択し評価する場合に使用する。</p> <p>●判断基準</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">評価値</th> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>a'</td> </tr> <tr> <td>75%以上 90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>60%以上 75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。</p>										ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	a'	75%以上 90%未満	a'	b	b'	b	60%以上 75%未満	b	b'	c	b'	60%未満	b'	c	c	c
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
		50%以下	80%以下	80%を超える																																	
評価値	90%以上	a	a'	b	a'																																
	75%以上 90%未満	a'	b	b'	b																																
	60%以上 75%未満	b	b'	c	b'																																
	60%未満	b'	c	c	c																																